

(別添)

令和5年度カモ科鳥類の生息調査結果について（速報値）

1 目的

本県の鳥類の保全や鳥インフルエンザ対策等に活用するため、ガン・カモ・ハクチョウ類の冬期の生息状況及び渡来傾向、保護管理を図るべき生息地等についての基礎資料を得る。

2 実施者 福井県

※日本野鳥の会福井県（代表 小嶋明男）に調査委託して実施

3 調査日 令和6年1月8日（月・祝）

※坂井平野のみ、1月7日（日）に実施

4 調査地 県内17か所の河川・湖沼など（別紙のとおり）

5 調査の方法

- ・調査地に定点を設け、その地域に生息するカモ科鳥類を種別にカウント
- ・調査を実施した人数はのべ77人で、カモ類の移動が少ない午前中に実施

6 調査結果（概要）

・飛来数状況

鳥類種	令和5年度※		（参考）令和4年度		前年比	
	種数	個体数(羽)	種数	個体数(羽)	種数	個体数(羽)
ガン類	2種	1,260羽	3種	1,345羽	1種減	85羽減
ハクチョウ類	1種	156羽	2種	132羽	1種減	24羽増
カモ類	16種	24,910羽	18種	27,526羽	2種減	2,616羽減
合計	19種	26,326羽	23種	29,003羽	4種減	2,677羽減

※調査地別、種別一覧は別紙のとおり

- ・ガン類、カモ類の個体数は前年度に比べ減少した。
- ・調査地別の総個体数は、日野川が最も多く4,397羽で、昨年に比べ、個体数は17か所の調査地のうち6か所で増加、11か所で減少した。
- ・過去10年の同調査地の総個体数の平均は27,657羽で、今回は平均を下回っている。

7 その他

- ・カモ科鳥類生息調査は、福井県において、昭和44年度から毎年1月に実施しており、同様の調査は、各都道府県が毎年1月に全国一斉に実施。全国の結果は野生生物保護行政に必要な資料とするために環境省がとりまとめ、確定値として、後日、環境省で発表。



▲ 調査風景

(参考) 環境省 HP

【ガンカモ類の生息調査 Web サイト】

[http://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo\\_top.html](http://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html)